

本日も、当院 HP を訪れていただき感謝申し上げます。

令和 5 年度が始まりました。熊本労災病院にも研修医 4 名を含む多くの新しい職員が入職されました。初めて社会に出る方もおられます。緊張していると思いますが、温かく迎えてくれる先輩を信じて技量知識を磨き、切磋琢磨しながら一線で活躍してくださることを祈っています。

コロナ禍は過ぎつつあり、熊本県内では平日で 100 名弱の感染者の報告にとどまるようになりました。しかし、ゼロには至らず、当院の発熱外来でも連日数十人の有症状者の検査をしております。陽性率は極めて少なくなりましたが、なお油断大敵と思っています。とはいえ、国の方針転換もあって面会禁止は緩和し、外来者の病棟滞在時間も延ばしたいと思っています。5 月 8 日は 5 類に移行する予定ですが、病院ではなお陽性入院患者様がいれば隔離は継続しますし、まだマスク装着必須です。感染状況を見ながらできるだけコロナ以前にゆっくり戻っていきたいと思います。5 月半ばには、八代市が再びワクチン接種券を配布予定ですが、まず 65 歳以上の高齢者、基礎疾患を持つ方、医療従事者が対象となり、9 月以降はそれ以外のかたも含めた全員が対象になります。また、八代市が主催する集団接種は今後施行しない予定とのことで、当院を含めた個別医療機関での接種になります。近日中に当院の接種方針を HP などに公開しますのでご参照ください。

熊本労災病院は、入院患者様の約半数は救急経由の入院であり、これからも 365 日「断らない救急」を掲げて、小児から成人まで、地域や医療機関の皆様の付託に答えています。昨年度は 4500 台におよぶ救急車やヘリを受け入れ、緊急手術や心カテなどの緊急処置にも迅速に対応してきました。外科系内科系計 2 名の救急当番医と ICU 当直医が常在し、必要に応じて、各専門診療科の待機医師が応援に入ります。その他、ガン診療、生活習慣病、周産期医療、を含め 26 の標榜診療科が、時に科の垣根を越えて、職種を超えて連携して手厚い診療にあたっています。当院で完結する医療を目指しますが、必要に応じて、熊本市内のより高次の医療機関と連携して治療にあたることもあり、その入り口としても機能しています。リハビリや退院支援など、当院での急性期治療からの移行も円滑に進むような仕組みも完備しています。

本年度は、南側駐車場に手術室や ICU、リハビリ、災害対応設備を兼ね備えた 3 階建ての棟を新築予定で、おそらく年度末から工事が始まります。外来者や近隣のみなさまにできるだけご迷惑がかからないように進めますので、ご理解のほどよろしく願いいたします。完成する 3 年後には、より高度な医療が可能になることが期待されます。

新年度の始まりにあたり、前に向かって進む熊本労災病院であり続ける思いを新たにしております。関係の皆様のご支援、ご指導のほど、よろしく願いいたします。